

学校法人淡島学園木内鳩の家幼稚園

令和4年度

学校自己評価 学校関係者評価

1. 教育方針

友だちと関わる楽しさや自分自身で目標を見つけ、やりとげていくたくましさを育てる

2. 教育目標

年少

- ・喜んで登園し、保育者に親しみ、友達と関わって楽しく遊ぶ。
- ・自分の思っていることを伝えられるようにする。

年中

- ・園生活の中で自分なりの力を発揮して、色々なことに一生懸命取り組む。
- ・喜んで登園し色々な遊びや活動に取り組む。
- ・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育者や友達との関りを深める。

年長

- ・園生活を楽しみ色々な活動や遊びに意欲的・創造的に取り組む。
- ・人との関わりの中で社会生活における必要な習慣や態度を身に付ける。
- ・物事に積極的に取り組み、最後まで頑張り通す。
- ・生活の中で言葉を使って表現する意欲や態度を育て、伝え合う喜びを味わう。

3. 学校関係者評価

学校関係者評価メンバー：理事・評議員 2名、保護者代表 4名

	項目	取り組み	評価
1	コロナ禍における幼稚園生活を保障する	運動会開催・観劇会・講習会・お泊り会・園外保育・親子遠足	A
2	畑・栽培・自然とのかかわりを深める	年長/夏野菜・山登り 年中/芋栽培・二十日大根 年少/オクラ・ニラ	A
3	飼育・動物とのふれあいを大切にする	・うさぎ2匹、モルモット3匹、亀5匹の餌やりと飼育当番を行う ・ザリガニ、カタツムリ、ダンゴムシ、カ	A

		ブトムシなどの飼育	
4	保育研修等による保育の質の向上	行事や活動、園外保育など保育内容と子どもの育ちについての話し合いとコミュニケーションの充実化。教育研究大会・ポスター発表・他園との交流会など研修への参加。安全研修とリスクマネジメントの実施。	B
5	幼児に対する理解を深める	保育参観、個人面談、子育て座談会、講演会を通して、幼児理解の機会を持つ。	A
6	職員の処遇改善	ICTを活用して、業務の軽減化を進める。	B
7	園舎の改修と増築	夏休み大規模工事・遊具移設。園庭とホールの一時的縮小に対する対応。仮設保育での避難訓練と防犯訓練の実施。保護者への説明。	B

総合的評価結果

A

依然としてコロナ禍ではあるが色々工夫して保育を行い、これまで行えなかった行事等が少しずつ行えるようになって来た。これは職員間での十分な話し合い、保育者と保護者の良好な関係が築かれてきたことによるものだと感じる。増改築工事に関しては日々工夫して保育を行っているが、工事に関する説明はもう少し早くする必要があったと思われる。

#### 4. 今後取組む課題

	項目	取り組み
1	コロナ禍における幼稚園生活を保障する	行事の充実（運動会・お泊り会など）。脚力を鍛え、体力をつける。健全な心身の発達のためマスク生活の再検討。
2	畑・栽培・自然とのかかわりを深める	年長/虫探し・畑の夏野菜・山登り 年中/芋栽培・ヒヤシンス水栽培 年少/プランター野菜の栽培・どんぐり拾い

3	飼育・動物とのふれあいを大切にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が日常的に触れ合える環境を大切にし、うさぎ2匹、モルモット3匹、亀5匹の餌やりと飼育当番を行う。</li> <li>・蝶、カブトムシなど昆虫やザリガニなどクラスで飼育して、幼虫の羽化や産卵など継続的に観察し、生命に触れる。</li> </ul>
4	保育研修等による保育の質の向上	同僚性を高め、保育内容と子どもの育ちについて話し合う。教育研究大会・ポスター発表・他園との交流会など外部研修への参加。安全・保健衛生・災害・防犯などの安全研修とリスクマネジメントの実施。
5	幼児に対する理解を深める	保育参観、個人面談、子育て座談会、講演会を通して、幼児理解の機会を持つ。誕生会給食を再開し、幼児食を知る機会にする。
6	職員の処遇改善	職員室や生活環境を整える。ICTを活用するなど、業務の軽減化を進める。
7	園舎の改修と増築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画のスムーズな進行に努める。</li> <li>・工程について保護者に説明し、安全な保育運営をしていく。</li> <li>・施設整備を整え、子ども主体の保育実践の場となる園舎を完成させる。</li> </ul>
8	こども園に向けてのスムーズな移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度よりこども園に移行するにあたり、これまでの保育理念を大切に地域の子育て家庭の支援を充実させる。</li> <li>・保育時間、保育料など具体的に保護者説明をおこなっていく。</li> </ul>